



湯倉が丘



R6 キーワード「**進化・深化**」

ホームページ：<https://member-hakodateshiyunotyuu.edumap.jp>

感謝を込めて 子ども達が幸せなら私達も幸せです

校長 田上 直広

第77回卒業証書授与式

「大丈夫。心配するな。何とかなる。」

これを読んだ僧侶達は、なんだか拍子抜けするとともに肩の力が抜け、穏やかに話し合い、結果的に危機的状況を乗り越えることができたというのです…。

卒業生は、ますます変化の激しい、「正解」の見えない未来社会を生きていくこととなります。しかしながら、何も恐れることはありません。どんなにつらくても悲しくても、生きてさえいれば、「**大丈夫、何とかなる。**」。

ここ湯川中学校で培った「**自律**」と「**尊重**」の精神、そして「**湯中プライド**」が卒業生の皆さんの胸には刻み込まれています。どうぞ「**自分らしく、あなたらしく未来を生きてください**」。あなたが幸せならば、私も職員も保護者もみんな幸せです。…とエールを送りました。



3月14日(金)、函館市教育委員会藤井教育長、斉藤同窓会会長、高橋PTA会長をはじめ、学校運営協議会委員や校区小学校長らご来賓の皆様、および大変多くの保護者の皆様のご隣席を賜り、無事終えることができました。誠にありがとうございました。

式では、3年生一人ひとりの凛とした姿、証書授与時に担任の呼名に応える気持ちの良い返事、在校生代表(工藤現生徒会長)による「先輩への感謝や、継承と発展を誓った送辞」、卒業生代表(三好前生徒会長)による「仲間との思い出と、感謝や決意を込めた答辞」、そして心(魂)のこもった歌声を響かせた記念合唱(生徒が話し合った決めた「正解」と、どれもが感動的で素晴らしい式となりました。

なお、式辞では、コロナ禍を経て、社会が再び人と人との直接的なつながりを取り戻していく中、仲間と学び合い助け合って、学習をはじめ行事や生徒会活動、部活動等で1・2年生やGH級をリードし成功へと導いてくれたこと等を称えつつ、とんちで有名な「一休さん」のエピソードを、卒業へのはなむけのことばとして贈りました。

大丈夫。心配するな。何とかなる。

「この先大変なことが起こり、どうしようもなくなって、みんなが本当に困ったときにはこの手紙(遺言書)を開けなさい。」と言い残し亡くなられた一休さん。それから数十年後、お寺が大変な危機を迎えます。なかなか打開策が見つからず僧侶達が困り果てた時、ある僧侶が開いた手紙には次のことばが書いてありました。



引き継ぐ伝統と、ブラッシュアップする湯中の未来

世代交代

これまで見せつけられた3年生のリーダーシップと湯中プライド(マナー・粘り強さ・感謝)。また、他者を尊重し自分らしさを発揮する力(自律・尊重)など、3年生には、1・2年生の手本となる部分がたくさんありました。そんな3年生の良さを引き継ぎつつ、1・2年生には、一人一人が自分の良さに自信をもち、自分らしさに磨きをかけ(ブラッシュアップ)、互いに**信頼し合い多様性を認め合う湯川中学校**を益々発展させていくことを期待しています。

4月からは、現2年生は3年生すなわち最上級生として学校の顔となり、現1年生には後輩(新入生)が入学してきます。



さあ、次は、君たちの出番です。

転任・退任のご挨拶

田上 直広 校長（役職定年：初任者支援講師へ）



令和4年より3年間、大変お世話になりました。コロナ禍を経て、あらためて「学校」は、主役となる生徒がいて、職員がいて、保護者がいて、地域の皆様に支えられて成り立っていることを実感しました。特に湯川中

学校は、行事や授業参観等に多くの保護者や学校運営協議会の皆様等が来校して子ども達を見守り、湯川学では、様々な事業所や施設、店舗等が「生徒の学び」に力を貸して下さいました。本当にありがとうございました。湯川中学校そして湯川地区の益々の発展を心から願っております。

森 涉 教頭（知内町立知内中学校へ）



保護者、地域の皆様、これまで温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。湯川中学校で過ごした日々は、とても幸せで、私にとってかけがえのない宝物でした。この学び舎を

離れることは寂しい限りですが、湯川中学校で培った経験を胸に、新たな場所でも精一杯努力して参ります。皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

三津橋 ゆかり 教諭（ご退職）



湯川中学校に来て6年、教員生活38年をここで無事に終了することになりました。ありがとうございました。ここ数年は教育の世界がものすごい早さでの変革し、アナログな私の力が及ばなくなっていることを痛感させられました。しかし、生徒と一緒に活動できることは本当に楽しい時間でした。今後はまだまだ長い人生なので自分の力の及ぶことをコツコツとやっていくつもりです。本当にお世話になりました。

松枝 充樹 教諭（八雲町立八雲中学校へ）



この度、八雲中学校へ転任することとなりました。4年間、生徒たちと共に過ごした日々は、私にとってかけがえのない宝物です。初めて教壇に立った時から、生徒たちの温かい笑顔と真剣な眼差しに支えられ、

教師として大きく成長することができました。新任地でも、この学校で学んだことを活かし、精一杯頑張りたいと思います。皆様の今後のご健勝と、湯川中学校の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

廣田 俊哉 教諭（函館市立南茅部中学校へ）



毎朝や休み時間に玄関や廊下ですれ違うと必ず挨拶をする湯川中学校の生徒の皆さんがとても素敵でした。素直で元気な生徒の皆さんと関わることができ、毎日がとても充実した日々を過ごせました。私にとっても貴重な経験になりましたことを感謝します。1年間の短い期間で寂しい気持ちはありますが、湯川中学校に関わられて勤務できたことをとても嬉しく思っております。生徒たち、保護者の皆様、地域の方々、本当にありがとうございました。

踊場 海斗 教諭（北海道静内高等学校へ）



湯川中学校で過ごした時間は、楽しさで溢れ充実した毎日を過ごすことができました。生徒の皆さんの温かさに助けられ心の支えになりました。1年間という短い期間ではありましたが、湯川中学校の一員として関わられたことを嬉しく思います。ありがとうございました。

安達 可奈 支援員（函館市立大森浜小学校へ）

平成30年から7年間、特別支援教育支援員として勤務させていただきました。右も左もわからない中、湯川中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、先生方の明るい雰囲気のおかげで、多くのことを学ばせていただきました。来年度より新しい環境になりますが、湯川中での経験を活かし、子どもたちへの教育活動に携わってまいります。保護者の皆様、地域の皆様には温かく見守っていただき誠にありがとうございました。

亀山 杏子 事務（任期満了）



いつも笑顔で明るい挨拶に元気をいただき、何事にも意欲的に活動する生徒の皆さんと過ごすことができ、1年間と短い期間ではありましたが、湯川中学校で過ごした時間はとても貴重なものとなりました。保護者や地域の方々、職員の皆様に支えていただいたことに感謝しております。本当にありがとうございました。

4月の主な予定※Fはフォーマルデイ

4日(金) 在校生事前登校日

7日(月) 始業式・入学式・PTA入会式 F

9日(水) 給食開始

11日(金) 学力テスト(全学年) F

14日(月) 二計測 全国学力・学習状況調査(理)

17日(木) 全国学力・学習状況調査(国数)

18日(金) 参観授業・PTA総会・学年懇談会 F

25日(金) 保護者二者懇談開始～5月2日